

美郷町の国民健康保険と 後期高齢者医療制度の医療費が増えています

医療費について 考えてみませんか？

公的医療保険とは

日本では全ての人がいずれかの公的医療保険に加入することになっています。公的医療保険は、被保険者（保険に加入している人）が病気やケガをしたときに安心して医療が受けられるように、お互いが助け合って医療費を負担しあう制度です。

75歳以上の方と、一定の障がいがあると認定された65歳から74歳の方は後期高齢者医療制度に加入しますが、それ以外の方はお勤め先などの健康保険か市町村が運営する国民健康保険（国保）に加入します。

被保険者には、保険者（保険を運営し

ている団体）から保険証が交付されます。保険証を医療機関に提示することで、診療にかかった費用のうち本人負担分を窓口で支払うこととなります。本人負担分以外の部分は、被保険者が納めている保険税・保険料を財源にして、それぞれの保険者が負担しています。

美郷町の国民健康保険の 現状について

市町村が運営する国民健康保険は、被保険者が納める国民健康保険税と、国と県の負担金で主に賄われています。

5ページのグラフ1は、平成21年度から23年度において美郷町の国保が負担した医療費と被保険者数の推移を示したものです。被保険者数は年々減少していま

すが、それとは逆に医療費は増え続けています。

後期高齢者医療の 現状について

5ページのグラフ2は、平成21年度から23年度における、後期高齢者医療（美郷町分）の医療費と被保険者数の推移を示したものです。医療費は19億円以上で推移を続けており、国保の医療費の1・2倍になっています。

平成22年度までは医療費が増加していますが、平成23年度は高血圧や糖尿病などの生活習慣病による受診が減り、医療費は減少しています。ただし、21年度と23年度を比較しても医療費総額が増えていることや、高齢化に伴う被保険者の増

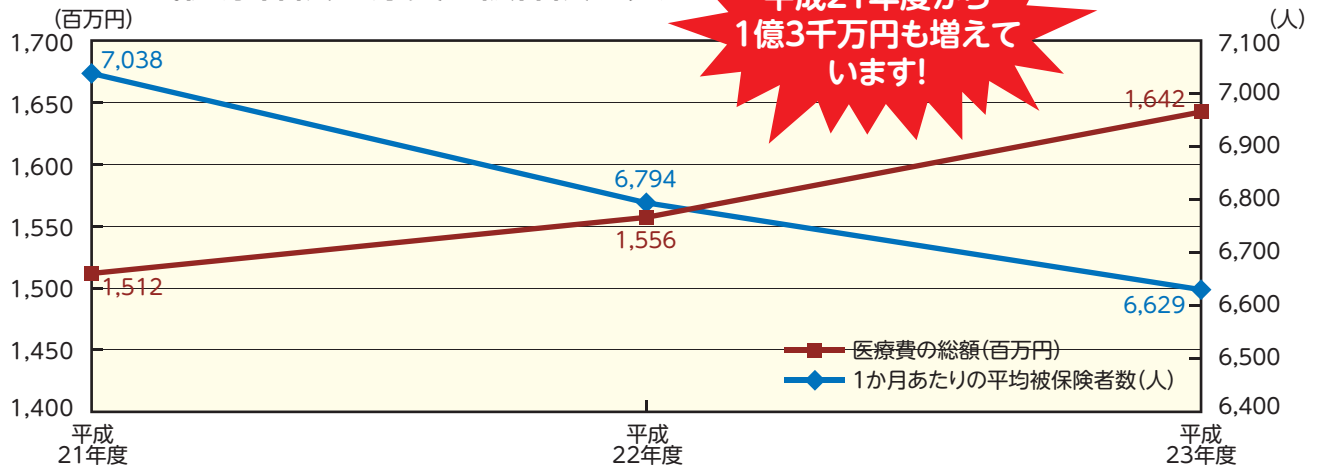
加により今後も医療費が増加するものと予測されます。

保険税・保険料と 医療費の関係

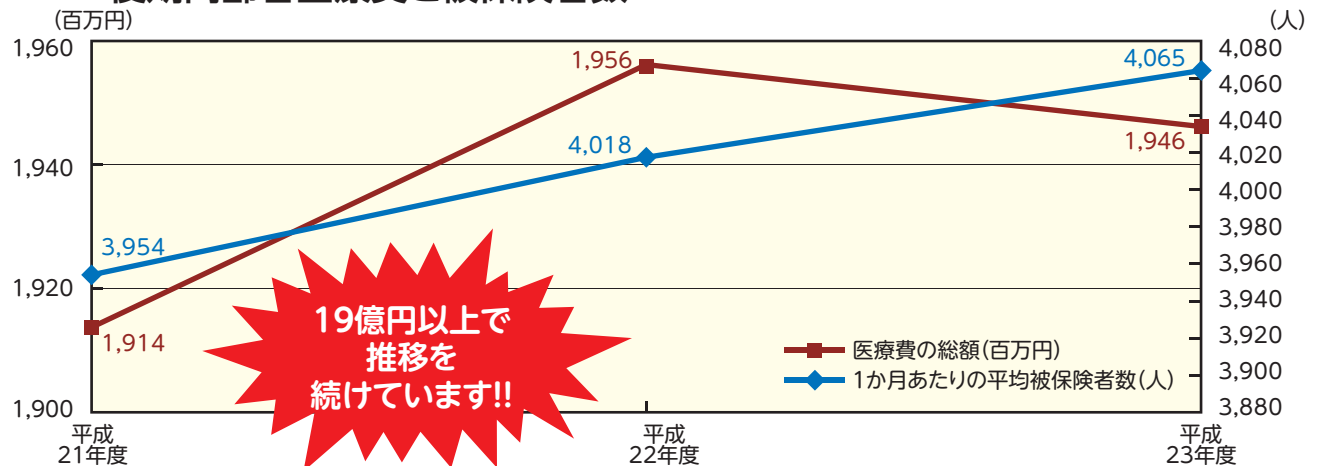
保険税・保険料の額は、その年度に予測される医療費から、病院などで支払う自己負担分と国などの補助金を除いた額となります。そのため、医療費が増えると国などの補助金も増えますが、被保険者の方が納める保険税・保険料も上昇することになります。

医療費の増加は、最終的に一人ひとりの負担の増加につながります。健診や検診を定期的に受け、健康でいっづけることが大切です。

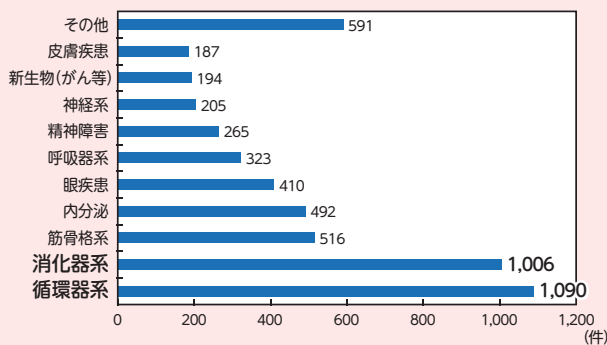
■ グラフ1 国民健康保険医療費と被保険者数



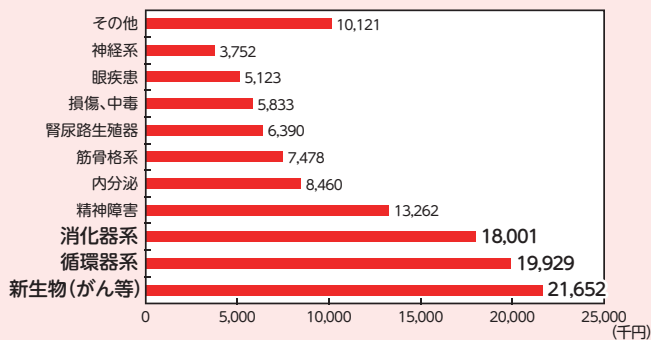
■ グラフ2 後期高齢者医療費と被保険者数



【件数】



【費用額】



生活習慣病が
上位を
占めています

国保加入者の 主要疾病状況

左のグラフは、美郷町の国民健康保険に加入している人が平成24年5月に受けた診療のうち、件数の多いものや費用額の高いものを示しています。これによると高血圧性疾患などの循環器系、がんなどの新生物、歯周疾患を含む消化器系の病気が上位を占めています。これらは「生活習慣病」とも言われます。

「生活習慣病」は治療が長期にわたることが多く、他の病気を併発するなど、家計における医療費の負担が重なりがちです。